

## 新型コロナウイルス感染症の影響や対策などを幾つかの訪問看護ステーションに聞いてみました。

### Q: サービス内容や回数が減ったことはありますか？

- A: ・ステーション側からの変更依頼はしていないが、ほとんどでした。
- ・利用者側からの要望で、回数が減ったケースはある。
  - ・訪問不要の連絡があったケースは、医師に報告し電話訪問で対応している。
  - ・デーサービスの回数が減った為、訪問看護を増やすケースもある。

### Q: 訪問当日の対応はどうしていますか？

- A: ①体調の確認について
- ・看護師は毎朝検温し出勤している。
  - ・毎朝電話で、体温や家族の状況を確認してから訪問している。
  - ・訪問宅の玄関で、ご家族から本人の体調や家族の状況を確認してから、ケアに当たっている。
  - ・体温測定、家族の状況（県外からの帰省等）の連絡  
: 事前に紙面でご家族に協力をお願いしている。
  - ・看護師の検温のみ

### A: ②服装

- ・マスク、手袋は必ず着用
- ・使い捨てエプロンは、必要に応じて着用（排泄物や喀痰の吸引など）

### Q: 職員の休憩や食事はどうしているの？

- A: ・事務所内は基本1人とし、ホワイトボードを活用してスタッフが一緒にならないよう注意している。(〇〇時に戻りますなどの伝言にて)
- ・テーブルは、使用前後に次亜塩素酸水で拭きとっている。
  - ・テーブルは1人分ずつアクリル板で区切って、使用している。

### Q: その他の対応

- A: ・毎朝、テーブル・共有物（PC、ドアノブなど）の清拭
- ・三密にならない工夫
  - ・事務所内1人としているため、ホワイトボードで伝言したり、励ましの言葉を残したりしている。しばらくスタッフと顔を合わせていない。
  - ・訪問後は、車の窓を全開にして換気しながら帰ってくる。

など、皆さん 様々な工夫がなされています。本当にご苦労様です。

自分を守るために、ご家族を守るために、そして何より利用者様を守るために

「自分たちの対処が果たして有効なものなのか 心配」

「他のステーションの状況を知りたい」という声もあり発信してみました。

